

ぼくのお父さん

高屋東小三年 中川 千尋

ぼくには、三つ年下の保育園に通っている
弟がいます。弟は保育園ではおかずもごはん
も食べるのに、家ではお母さんが
「あっくん、夕ごはん何食べたい？」
と聞くと、決まって
「ふりかけごはん」
と答えます。

おいしいちゃんちに行くと、毎食おに
ぎりを食べていました。そのぐらいぼくの弟
は、ごはんが大好きです。

その弟の大好きなごはんを、ぼくのお父さん
が作っています。ぼくは、お父さんにお米
の作り方をインタビューしてみました。

まず、なえばこに種まきをします。そのな
えに水をやり育てます。田んぼをたがやめて
水をはり、大きくなったらなえをうえます。そ
れからいねかりをする日まで、水のかんりを
したり、虫よけのひ料をまいたりします。そ

して、夏の暑い時にほがでます。これらの作業の中で、お父さんが一番大変なことは、草かりだそうですね。理由は、いねかりをするまでの土が月間ひんぱんに草かりをしないと、ほに虫がついてしまいおいしなお米ができないからだと教えてくれました。

ぼくは、毎年田んぼをたがやす時にトラクターにのせてもらったり、いねかりを近くで見ながら遊んだりしています。まだぼくにはお手伝いできることはあまりなく、見るだけ

でいいと言われます。けれど、お父さんが暑い中がっぱの作業をしてくれるおかげで、家族みんながおいしいごはんをいっぱい食べることができます。ぼくの弟も、おいしいふりかけごはんをたくさんはおぼえています。

お父さん、いつもぼくたちのために、お仕事も田んぼもがっぱでしてくれて、ありがとうございます。ぼくも、大きくなったらお手伝いするからね。